

GSSG & Small One 「Gemba創生」プロジェクト

製造の未来を支える 社会価値醸成・社会貢献プロジェクトを始動させました

形骸化した改革の影が、現場に潜む“闇”を呼び覚まします

人手不足が生産を阻んでいる

人が減りトラブル
などの対応が
出来ない

人が雇えない

人がすぐ
辞めてしまう

人が育たない

自働化・DXに期待が高まるが

自働機 / DX
多額の投資を
しているにも
かかわらずらず

材料ロス・エネル
ギーロス
が膨大に発生

重トラブル発生の
に伴い、
重大災害誘発

設備停止の長時
間化により
製品出荷が停止

不正・不具合が
多発

ボタンを押すだ
けの考えない
人間

データを見ても
対応が出来ず

トラブル対処
がままならず

投資の失速
DX・自働化への投資が
期待された成果を上げられず、
推進力を失っている

現在、製造業の現場では「人材の確保・育成の困難」や「早期離職の増加」といった課題が顕在化しており、DXや自動化への期待が高まっています。

しかし、現場に必要な知識・経験・技能が蓄積されていなければ、変革は定着せず、成果には結びつきません。

人手不足の切り札 DX・自働化のはずが

誰もが知る先端大手メーカー事例…

実行したDXテーマ
技術革新と業務効率化を目的に、
DX・自働化で200テーマを推進

デジタルツインの推進
自働機運転/トラブルデータを幹部
まで全社で見えるように
可視化

自働機はボタンを押せば
良品が出るとの誤認

トラブルや不良数は
減少せず

制御までできたのは
「2テーマだけ」
・見える化段階でスタック
・自働化はトラブル対処ができず
スタック

人がどう対処すればいいか
分からず

効果創出が1/100
現場が迷走

AIの誤情報も
見抜けずに

技能が静
かに崩れ
ている

著名な先進企業でも200件以上のDXテーマが検討されたものの、成果として定着したのはわずか2件。

「ボタン一つで良品が出る」といった誤認が広がり、作業はマニュアル化、現場の思考力は低下し、迷走が続いています。

AIの誤情報を見抜く力も育たず、技能の土台は静かに、確実に崩れつつあります。

結果として、自働化やDXへの投資は成果に結びつかず、時間と資源が空費されているのが現状です。

内部だけで動いても、変化は点に留まり、面にならない

自社内では

システム・自動機導入が目的化して、現場の課題は置き去りに

人手不足で効果的な活用時間を持つことができない

人財育成が進まず実効的な活用が停滞

経営層



現場

組織・機能間/部門間の障壁

認識優先度のずれ

DX活用のプラットフォームを作ることができない

活動がスタック効果が出ない

資源と時間が空費していく

実務経験がないものには無理が伴う

多額の投資をしてDX・自働化を進めようとしても

導入だけを目的としたITベンダー

実務経験の乏しい、大手コンサル

目的の相違により、ゴールが本来の姿を失う

想定された活用ができない

効果が発揮されない

生産力の根本的な伸びが見られない
現場のポテンシャルが発揮されない

DXや自働化を進める中で、内部改革だけでは行き詰まりが見えてきます。また、DXツール導入だけを目的としたITベンダーや現場経験を持たない陣容で推進される大手コンサルファームでは、能力の限界により核心への到達が困難です。

実務に根ざした専門家の伴走こそが、現場に機能する仕組みと人財育成を可能にします。現場の優れた知見が伝承され、自らがわくわくして動きたくなる、創造性に充ちた現場つくりを支援します。

改革を動かすのは、机上の理論ではなく、現場で培われた
“実践の智”

形式ではなく実践。
現場が求めているのは“実践者”

現場に根ざした課題解決と、持続
可能な価値創出を実現するための伴走

伴走者が我々Gemba創生
プロジェクトのエキスパートです

考えることの原点は、ものづくりの面白さ、楽しさ

ものづくりには、必ずやりがい
と面白さが潜んでいる

難しさの中に、
創造の悦びが息づいている

達人に聞いてみる

経験の地層に、
痕跡が刻まれている

その価値は、今も静かに眠っている。

- ・その価値にまだ気づいていない
- ・その価値を忘れている

価値を呼び戻す

私たちは従来の枠にとらわれず、少数精鋭の技能・技術集団として、御社のモノづくりを本質から支援することが重要だと考えます。

ツール導入に留まらず、現場に根ざした課題解決と持続可能な価値創出を実現する伴走型支援こそが、今求められているのです。ツールや設備に頼るだけではない実践。

現場が真に必要としている
のは、私たちのような“実践者”です。

深刻な「現状」

不正
重大事故

自動化を進めて
いるのだが

競合力劣化

正確性とスピード
が必要だが

上市能力
不足

1. 深刻な人手不足と能力低下

- ・ものが作れない
- ・良い品質が出来上がらない
- ・常に現場は手一杯
- ・不正やごまかしの発生

2. 自動化とDX技術革新対応

- ・AI、IoT含めた技術能力不足
- ・トラブル対応力の低下
- ・品質保持判断力の低下

3. 次世代製品供給

- ・生産試作・量産試作対応力低下
- ・長時間化
- ・解析技術力の低下
- ・先端技術対応力不足

今をどうするか

今後どうするか

将来をどうするのか

技能つくり・人つくり ⇒ 風土つくり

基礎力強化
少数精鋭化

トラブル対応能力強化
インシデント判断能力強化

解析能力の強化

レガシーを残す(良質な技術・技能)

- ・ノウハウ等のエンサイプロペディア化
- ・レガシー人材活用等による技能伝承

新技術に適応する「考える力」をつける

- ・人材育成
- ・マイスター人材発掘と活用

創造的風土・ワクワクする職場
を作る

「貴社OB・Gemba創生チーム・現場」の三者協働により、
活動支援の基盤を整備。次世代を担う人財を育て、
貴社の革新性を支えるプラットフォームを構築します

知的投資

貴社が持つ、OBも含めた
知識・経験をフル活用



貴社の持つ 知的資産の徹底活用

5つの推進プログラムで「現場創生」を遂行していきます

- ① 人財育成・技能強化・伝承強化
「最重要基盤構築プログラム」
技術・技能を駆使する人財発掘
 - ② 効率化
生産性のある活かし方
の機能連携、
力強化
 - ③ エンサイクロペディア化
技術的知見、トラブル、手順など
人への知識実装強化のための
AI百科事典、自社内ウィキペディア
 - ④ 試作力強化
要求機能品質展開・実験計画法 強化
トラブル解消、生産・量産試作の
超高速化を可能とする技術的基盤構築

技術的会話の促進基盤

プラットフォーム(運用継続基盤)

技術者・技能者等、現場の各機能の連携。コミュニケーションや情報交換を行う基盤の構築。

生産の安定化や埋没しているコストを極小化する仕組みを創出し、継続運用する基盤の構築。

私たちちは、生成AIやデジタルツインなどの先端ツールの“使い方”に深く踏み込み、机上に留まらない高度な運用設計で、現場の思考力を引き出します。

技能の「活かし方」まで
設計し、試行・検証・改
善を通じて実効性ある解
決策を構築。

さらに、自働化のプロセスを通じて技能の本質に迫り、“現場智”を体系化することで、智の伝承を支援します。

Gemba創生プロジェクト

一般社団法人 製造業総合支援

エキスパート集団：GSSG

実効力と専門性を備えたコンサルティングチーム:スマール・ワン
が推進する、製造を通した、人と社会をつなぐ、社会還元プロジェクトです。

GSSG
One SMALL
株式会社 スモール・ワン

お問い合わせ窓口
gembasousei@smallone.co.jp

担当 Executive Producer : 田邊 洋
Executive Director : 藤平 俊彦

事務局：

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-7-5
池袋パークタワー-703
Tel:03-5950-2150/ Fax : 03-5950-2151
株式会社スモール・ワン内